

(2) 住民座談会の開催記録

中球磨5か町村合併に関する住民座談会開催結果の概要について（総括）

1. 開催の目的

中球磨5か町村（上村・免田町・岡原村・須恵村・深田村）の地域住民に対し、事前に策定した基本構想の概要版等を配布し、座談会での意見等を新町建設計画の策定に反映させることを目的として開催した。

2. 開催日程・会場

平成12年10月10日（火）から須恵村・深田村を皮切りに12月1日（金）まで別表に計画する日程・会場において途中会場変更等もなく計画通りに全67会場において開催することが出来た。

3. 出席者

(1)各町村長以下出席者については、各町村の意向を踏まえ任意とした。各町村共に協議会委員並びに役場各課長については、交代制により出席対応された。

(2)中球磨5か町村合併協議会事務局職員の出席体制については、事務局長、次長以下2班編制とし、出席対応した。

4. 各会場開催時間・次第（共通事項）

(1)開催時間帯 午後7時00分から2時間程度とした。

(2)開催次第 各町村進行役を総務課長（免田町においては、質疑応答の座長を助役若しくは収入役）とし、以下の次第により開催した。

①開 会

②町村長挨拶

③出席職員紹介

④説 明 ・事前に配布した基本構想の概要版について協議会事務局より40分程度説明を行った。

⑤質疑応答 （要望・意見収集・意見交換等）

⑥連絡事項等

⑦閉 会

5. 各町村（各会場）における出席状況

各町村（各会場）における地域住民の出席状況については、別表のとおりとなったが、概算出席率の数値（戸数に対する出席者の率。ただし複数出席者については計算外）的には、上村47.9%、免田町14.7%、岡原村42.0%、須恵村62.9%、深田村67.1%、5か町村全体の平均出席率は35.54%であり、各町村間においてかなりの較差が見られた。

また、深田村、須恵村においては、1戸から複数出席された会場が多く見受けられた。

6. 質疑応答・意見、要望の収集について

各町村（各会場）における出席された住民からの質疑・意見、要望等の記録収集については、あらかじめ事務局において統一記録様式を作成し記録整理を行った。

記録にあたっては、全体整理の都合上、「質疑内容と答弁内容」と「意見、要望」に区別し記録整理を行い、本報告書作成にあたっては、各整理区分毎の内容をもとに作成を行った。

なお、整理の都合上、発言者の「意見、要望」的な内容を含んでの質問（質問的要素が多いと判断されるもの）について、町村当局並びに合併協議会事務局が答弁を行ったものについては質問に分類した。

また、分類の方法については、別表のとおり質問の内容毎に、

①地域間格差に関するもの

②学校関係に関するもの

③新町の組織・事務機構に関するもの

④財産、債務等の取扱いに関するもの

⑤特別職、一般職等の身分に関するもの

⑥基本構想、新町建設計画に関するもの

- ⑦その他合併協定項目に関するもの
- ⑧その他
- ⑨要望事項を含んだ質問の代表的なもの

以上の9項目に区分し、さらにその区分内容の質問の多かったものからそれぞれ内容詳細毎に項目を設定して集計をおこなった。

7. 各項目毎の質問等の内容について
(※意見、要望内容については後段記載)



住民座談会で説明を行う村・協議会関係者
(上村麓地区：11. 30)

(1)地域間格差に関するもの

今回の座談会においては、まず、説明の冒頭に合併前に地域住民の意見要望を踏まえて新町建設計画を策定する主旨の説明を行ったが、「合併すれば中心部が栄え、周辺部は寂れるのではないか？」といった地域間格差を心配される質問が免田町（一部会場を除く）以外の4村から相次いだ結果となったことは、依然として地域間格差に関しての心配が根強いものがあるということがいえる結果となった。

また、「行政サービスが低下するのではないか？」という質問については、地域住民に密着した窓口サービス体制をはじめ、いわば、「役場が遠のく」といった心配から、例えば、道路防犯灯の補修、水道事業（断水時の対応）などが各支所で今までどおりに即応できるのか？といった具体的な業務内容を取り上げての質問が多く多く出された。

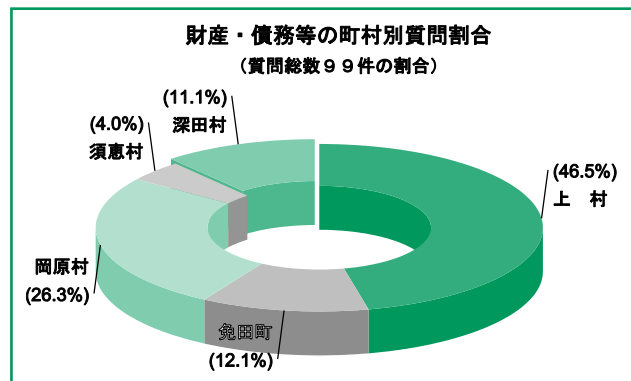
これら地域間格差に対する懸念（心配）は、座談会全体で数多く出された質問、意見・要望等の全般にわたって住民意識の根底に深く関わるものであり、新町建設計画策定に際しての重要な施策ポイントとなるものといえるものになった。

(2)学校関係に関するもの

学校関係に関する質問は、「通学区域はどうなるのか？」と「学校統合問題と少子化対策に大別された。

通学区域については、現在一部の区域において区域外就学が行われている現状や合併した場合の各学校への通学距離、合併した場合における指定した学区の変更などを考慮しての質問が特に4村から多く出された。

一方、学校の統合についての質問は、中学校についての質問が大部分であり、少子化による生徒数の減少を踏まえての質問内容となった。



(3)新町の組織・事務機構に関するもの

新町における行政組織の体制については、本庁、4支所の業務内容に関する質問、職員の配置についての質問が多く出された。内容的には、前述のような身近な住民生活に直接関係ある行政サービスがどうなるのか？

(行政サービスが低下するのではないか?) といった質問が多く出された。

(4)財産・債務等の取扱いに関するもの

新町における財産・債務等の取扱いに関しては、主に「山林の取扱い」、「合併後の財産の取扱い」、「将来の財政について」に区分される内容となった。

山林の取扱いについては、現4村の村有林について、「財産区」設置が望ましいか合併時に持ち寄るかで意見が分かれるところとなっており、折しも各町村においてそれぞれ諮問機関に対し首長より諮問が行われている最中であることから、関連する質問も多く出される結果となった。

また、財政関係の質問については、座談会が岡原村、上村、免田町と開催されていく中で、現在の厳しい財政状況の中、新町における将来の財政計画等についての質問が多く出されるようになり、しいては、将来に対する住民負担の軽減についての質問が多くなった。

(5)特別職、一般職等の身分に関するもの

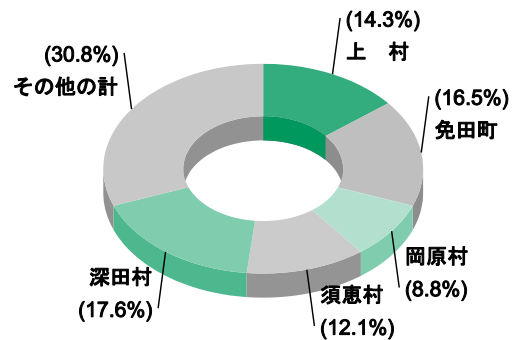
特別職、一般職等の身分に関する質問については、座談会開催期間中に協議会での関係協定項目である議会議員の定数と任期について、協議会から小委員会に付託審議がなされている最中でもあり、各会場においても関心が高く、質問も多く（91件）出された。

そのほとんどは、合併後の定数と任期に関する質問であり、協議会委員として出席していただいた各町村議長並びに小委員会委員より、必要に応じて状況報告※その他の計は、一般職、議員以外の特別職に関しての質問の合計

がなされ、事務局から法的な根拠説明などを行った。（関係する意見、要望は後段記載）

一般職の身分等に関する質問については、今後検討される各支所の機能に関連した配置に関する質問をはじめ、退職者調整から定員管理、採用計画に関する質問が出された。

特別一般職に関しての質問の内議員に関しての質問割合
(質問総数91件の内議員関係の各町村の質問割合)



(6)基本構想、新町建設計画に関するもの

今回の座談会については、趣旨のとおり新町建設計画基本構想を説明し、住民からの意見・要望等を計画に反映させる目的での開催であり、その意味においては出席された住民からは、より具体的な計画内容の周知を求める声が多いものとなった。

合併の必要性、認識などについては、はっきりとした合併反対の意向を示された方はいなかったようであり、やはり「地域間格差」への懸念から、「今後の情勢を考えると合併は必要」若しくは「合併はやむなし」との声の付帯として、様々な意見・要望（後述）が出された。

関係財政支援措置の内容等に関しては、合併に係る普通交付税の特例措置（合併算定替）に関しての再説明を求める質問をはじめ、合併特例債は借入金であることへの合併による負債額増大への懸念の声などが聞かれた。また、国における財政事情の悪化の説明に付随してか、「合併算定替は確定（国の確約事項）なのか?」、「今後の国政事情で変更（減額）となることはないのか?」などの意見が出された。

また、「説明はメリットばかりであるが、デメリットの記載がない（デメリットはないのか?）」などといった質問が特に須恵村、深田村で多く出された。特に深田村などでは、「ハード事業ばかりではなくソフト事業にも力を入れるべきではないか?」「文化振興を望む」質問が出され、将来の各町村事業に関連する質問での地域特性が出る結果となっている。

結果として、前述のような新町建設計画の内容再周知を求める声が多いことから、今後の協議会で検討しなければならない事項である。

(7)その他合併協定項目に関するもの

具体的な新町建設計画基本構想並びに合併協定項目の内容に関する質問については、住民生活に密接に関係のある質問が相次いだ結果となった。

・「合併すれば税・公共料金は高くなるのではないのか?」（23%）

各会場において最も多く出された質問内容であり、住民生活に密着していることから関心の高さが伺えた。

・「行政区についてはどうなるのか?」（22.4%）

中球磨5か町村の各地区の格差が大きいことから、特に小規模の地区から合併後の将来の行政区のあり方を心配されての質問が多く出された。これに併せ、集会施設整備に関する質問が

あり、協定項目の調整確認の内容から各町村における検討課題の一つに上げられる。

- ・「イベント、文化等の伝承について」(8.1%)

現在各町村で実施されている町村民体育祭をはじめ、文化行事、イベントの存続等に関する質問について、並びに民俗芸能が地区単位で保存伝承されている地区からは新町における保存活動への施策についての質問が寄せられた。その他、合併協定項目に関する質問については、事前に広報誌等で周知はしていたものの、内容表現に対する解釈、再説明などの質問があったことを踏まえ、今後の広報内容の充実化を図っていく必要性を認識させられる結果となった。

(8)その他

- ・「合併の最終決定はどこか？」

法制上、最終的な決定となる平成14年3月の予定で説明した各町村議会での「廃置分合」の議決についてが最終的な町村合併の決定となることについて、冒頭の説明の中での協議会スケジュールで説明し、質問に応じ改めて最終的な決定は各町村の議会の議決であるということの説明を行ったが、このことに関する質問が11件出された。

- ・「小さな村は損をしないか？」

いわゆる地域間格差の懸念と相まつの質問と想定できるが、「人口規模」、「財産規模」などについての小規模村は合併となると何かと損をするのではないか？という疑問からの質問が散見された。

- ・「住民投票について」

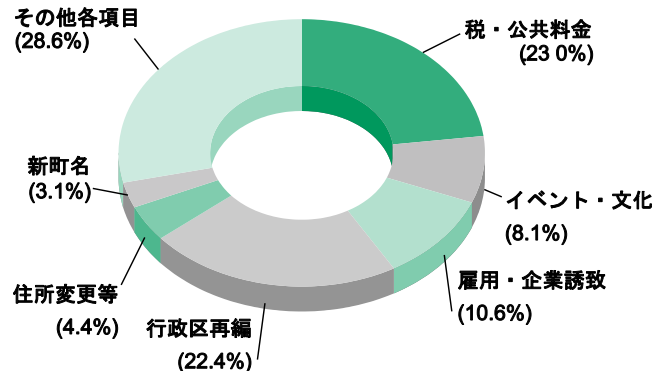
合併の決定に係る「住民投票はしないのか?」、「行政主導型の合併のようであり、住民主導型ではないのでは?」などの質問がある中で、座談会日程の後半で新聞紙面上で住民投票の制度化が検討されている旨の報道があり、関心のある住民の質問となった。協議会事務局としては、議会は住民の代表であるという概念からの合併の最終決定は、各町村の議会であるという説明を行った。

- ・「合併までのスケジュールについて」

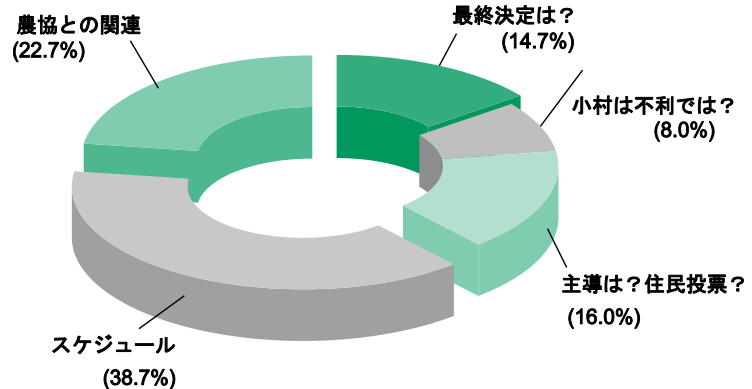
事務局からの説明の最後に今後のスケジュールについての概要(予定)について説明を行ったが、各町村の「廃置分合」の議決の際に1町村でも否決された場合はどうなるのか?といった質問が各町村平均して出された。この点についても、最終決定機関についての質問同様住民の関心が高いも

その他協定各項目についての質問内訳

(関係質問161件の内訳)



その他の質問(75件)の内訳



住民座談会

(深田村植深田地区: 10. 23)

ののひとつと推察された。

・「農協との関連について」

岡原村が農協組織が違うことを反映して、同村と上村について農協との関連質問が14件出された。座談会の後半において中球磨農協と球磨地域農協との合併推進協議会が設置されたことを受けてその関係質問が多くなっていった。

(9)要望事項を含んだ質問の代表的なもの

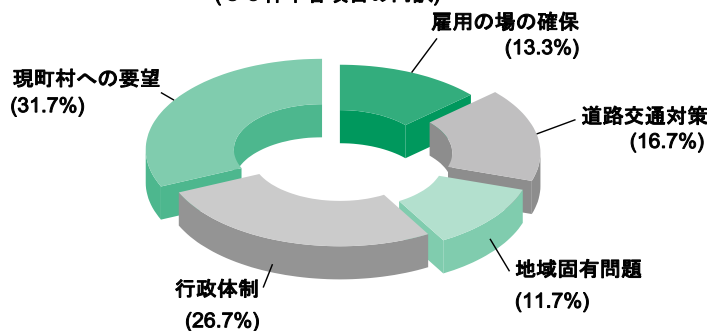
座談会の各質問集計の内特に要望・意見を含んだ代表的な質問については、以下の通り別途整理を行った。特に多かった質問は、雇用の場の確保に関する質問であり、前述の合併協定項目関係の雇用の場、企業誘致に関する質問を合わせると25件の質問があり、若者定住促進対策としての雇用の場の確保については、住民の最も関心の高い項目の一つといえる。

道路交通網、交通弱者対策については、上村、須恵村、深田村から10件の質問があり、内容については、集落内道路整備から主要道路の歩道設置にいたるまで、現代の交通事情に対応した施策を望む声が聞かれた。

各町村特有の問題として、現在各町村で問題となっている環境問題、文化財等の保存整備に関するものなどが出されている。

行政体制に関するものについては、前述の支所の機能にも関係しているが、地域間格差の懸念への解消策としての支所機能の窓口業務内容や問題発生時の即応体制等に対して要望・意見を含んだ質問が出されており、特に「地域審議会」についても、その機能や内容についての質問を含めて16件出された。

要望を含んだ質問の代表的なものの内訳
(60件中各項目の内訳)



住民座談会（免田町永才地区：11.30）

合併に関する住民座談会開催結果表（出席概要）

※概算出席率については、1戸からの複数出席者、地区外出席者を含むので確定率ではない。

	月	日	曜日	町村名	地区名	会 場 名	対象戸数	出席者数	概算出席率	備 考
1	10	10	火	深田村	草津山	草津山公民館	18	16	78	
2		11	水		古町	古町公民館	28	17	54	
3		12	木		城	城農事研修センター	35	31	80	
4		13	金		向町	向町農事研修センター	48	33	69	
5		16	月		小枝	深田村中央公民館	24	17	66	
6		17	火		下里	下里農事研修センター	73	38	52	
7		18	水		内山	内山公民館	49	24	49	
8		19	木		鷺巣	鷺巣コミュニティセンター	35	23	60	
9		20	金		新深田	新深田婦人ホーム	25	20	80	
10		23	月		上里・植深田	植深田集会センター	80	54	67	
11		24	火		庄屋	庄屋農事研修センター	57	39	68	
12		25	水		永峰	永峰公民館	16	23	94	
13		26	木		加茂	加茂公民館	22	14	63	
14		27	金		荒茂・柳の内	荒茂公民館	30	20	60	
平成12年4月1日現在の人口数					2,026 人		540	369	平均出席率	67.14%

	月	日	曜日	町村名	地区名	会 場 名	対象戸数	出席者数	概算出席率	備 考
1	10	10	火	須 恵 村	石坂	石坂公民館	17	16	58	
2		11	水		上手	上手公民館	25	16	64	
3		12	木		覚井	須恵村農村研修センター	33	30	75	
4		13	金		今村	今村公民館	39	20	48	
5		16	月		屯所	屯所公民館	33	18	45	
6		17	火		湯原	湯原公民館	32	25	68	
7		23	月		諏訪原	諏訪原公民館	31	24	54	
8		24	火		阿蘇	阿蘇公民館	26	18	69	
9		25	水		平山・松尾	平山公民館	23	14	60	
10		27	金		浜上	浜上公民館	34	25	55	
11		30	月		竹原	竹原公民館	16	14	81	
12		31	火		中島	中島公民館	32	19	53	
13	11	1	水		川瀬	川瀬公民館	18	20	88	
平成 12 年 4 月 1 日現在の人口数					1,525 人		359	259	平均出席率	62.92%

	月	日	曜日	町村名	地区名	会 場 名	対象戸数	出席者数	概算出席率	備 考
1	10	26	木	岡 原 村	宮麓	宮麓公民館	79	40	51	
2	11	6	月		熊野	熊野公民館	82	41	50	
3		7	火		竹野	竹野公民館	171	53	31	
4		8	水		桧山	桧山公民館	55	27	49	
5		9	木		別府	別府公民館	107	33	31	
6		10	金		齊堂	齊堂公民館	88	33	38	
7	10	13	月		開墾	開墾公民館	33	12	36	
8	11	4	火		福留	福留公民館	53	30	50	
9		15	水		永岡	永岡公民館	100	34	34	
10		16	木		岡麓	岡麓公民館	52	26	50	
平成 12 年 4 月 1 日現在の人口数					3,062 人		820	329	平均出席率	42.00%

	月	日	曜日	町村名	地区名	会 場 名	対象戸数	出席者数	概算出席率	備 考
1	10	30	月	上 村	井上	井上公民館	88	30	34	
2		31	火		下永里	下永里公民館	38	33	86	
3	11	1	水		永里	永里公民館	80	35	44	
4		2	木		上永里	上永里公民館	74	36	49	
5		6	月		榎田	榎田公民館	61	25	41	
6		7	火		塚之脇	塚之脇公民館	47	32	68	
7		8	水		清水	清水公民館	58	20	35	
8		9	木		上西	上西公民館	98	30	31	
9		10	金		下西	下西公民館	29	25	86	
10		13	月		堀之角	堀之角公民館	154	53	34	
11		14	火		今井	今井公民館	205	47	23	
12		15	水		柳別府	柳別府公民館	145	45	31	
13		16	木		神殿原	神殿原公民館	104	37	36	
14		17	金		平和	平和公民館	63	16	25	
15		20	月		石坂	石坂公民館	86	53	62	
16		21	火		永山	永山公民館	84	2	24	
17		22	水		狩所	狩所公民館	62	37	60	
18		24	金		麓	麓公民館	77	43	56	
19		28	火		皆越	皆越公民館	34	24	71	
20		29	水		秋時	秋時公民館	34	21	62	
平成 12 年 4 月 1 日現在の人口数					5,680 人		1,621	662	平均出席率	47.90%

	月	日	曜日	町村名	地区名	会 場 名	対象戸数	出席者数	概算出席率	備 考
1	11	17	金	免 田 町	築地	築地農事研修センター	126	18	14	
2		20	月		吉井	吉井軽スポーツセンター	560	51	9	
3		21	火		久鹿	久鹿公民分館	124	24	19	
4		22	水		二子	二子農事研修センター	187	20	11	
5		24	金		八幡町	八幡コミュニティセンター	219	25	11	
6		27	月		大正町	大正区コミュニティセンター	128	15	12	
7		28	火		本町	本町公民分館	122	33	27	
8		29	水		黒田	黒田農事研修センター	178	19	11	
9		30	木		永才	永才公民分館	183	25	14	
10	12	1	金		下乙	下乙集落センター	78	15	19	
平成 12 年 4 月 1 日現在の人口数					6,151 人		1,905	245	平均出席率	14.7%

開催結果 集 計	対象戸数合計	5,245 戸	座談会出席者数合計	1,864 人
	H12. 4. 1 現在の中球磨5か町村の人口数	18,444 人	対象全体戸数に対する 概算全体出席率推計	35.54%